

中小企業の至上命題は  
自社の商品・企業価値を  
最大限に高めること



## 有限会社ちふりや工業

所在地：山口市陶1928 TEL：083-986-2300 FAX：083-986-3622  
事業内容：製造・販売業 URL：http://chifuriya.com



### 建設業から開発型メーカーへ

当社は、先代が昭和45年に建設業として創業しました。会社名の「ちふりや」とは、先代が戦時中、満州の開拓地千振(ちふり)村で農学校の教諭として赴任していたことに由来します。昭和57年に国鉄を退社し、25歳で家業を継いだ当時は、廃業寸前の状況で、仕事の受注にも波がありました。特に、平成7年の阪神淡路大震災のときは、復興事業のためメイン事業のJR工事がほとんどなく、2～3年仕事が激減しました。

そのような中で、商工会議所の専門家派遣制度「山口エキスパートバンク事業」を何度も活用し、中小企業診断士の力を借り、はじめて経営革新計画を作成する機会を得ました。平成16年商品開発による革新計画が県に認定されたことで、試作品や特許登録などに国や県の補助金を活用でき、商品開発にかかるコストを抑えることができました。



フレコンキーパー

建設業の下請けでは不安定な状況もあり、再度平成20年に建設業から開発型メーカーへの事業転換に本腰を入れるため、経営革新計画の見直しに着手しました。自社開発する製品のキーワードを「災害対応」に焦点をあて、移動式仮設トイレ「キューブレット」、フレコンバッグ自立保持枠「フレコンキーパー」や大型土嚢製作治具「瞬作」災害用緊急大型土の「サンドレーンバッグ」などを開発し、特許を取得しました。試行錯誤を繰り返す中で一番感じたことは、事業計画を立てないと話しにならないということです。

### 知的財産を活かした商品開発

自社開発した製品の製造については、すべて外注とし、自社に工場を持たないファブレス化を進めています。一般的には、自社で企画から販売まで全てをまかない、利益率を高めるため事業規模を拡大するものですが、当社は、逆に商品開発と販売に集中できる組織体制を整えるため、このような方針を採っています。



瞬作



キューブレット

開発した商品は、東日本大震災の復旧現場や福島県の除染作業にも採用され、生産が追いつかないほどになりました。『キューブレット』『瞬作』は、国土交通省の新技術活用システム「ネティス」に登録されています。工事業者が、国土交通省の発注する工事において「ネティス」登録商品を使用した場合、工事の評価点が加算されるという特典があるので、これが『キューブレット』『瞬作』の強みです。エンドユーザーである建設現場の方にとって使い勝手が良かったり、機能性の高いものや、「あれが欲しい」と思われるような付加価値の高い商品づくりに取り組んでいます。また、山口県の優れた商品にも認定され自社の商品価値を高めることで、会社そのものの価値も高め、事業を継続していくことが使命だと思っています。

### 「中国地方発明表彰発明奨励賞」を2年連続受賞!

地道な取り組みが周囲から評価され、平成26年度に「第22回中国地域ニュービジネス奨励賞」、



サンドレーンバッグ

「中国地方発明表彰発明奨励賞」を受賞しました。そして昨年、2年連続となる「中国地方発明表彰発明奨励賞」を受賞することができました。大手企業の受賞が多い中

で、中小企業が2年連続で受賞することはあまり例がないようです。地元には、オンリーワンの技術や商品を持っている中小企業が、たくさんあると思います。商標登録をするなど、まずは自社のモノ(商品)に愛着を持ち、知的財産を活かすことが大切だと思います。

当社の今後の課題は、「次なる商品の開発」です。そのためには、経営革新計画の更なる見直しを行い、発明表彰の3年連続受賞にもチャレンジしたいと考えています。



(有)ちふりや工業  
代表取締役 岩下芳人氏

